

住宅改修 領収書 記載例

償還払 記載例①: 介護保険による住宅改修対象工事のみを行った場合
住宅改修対象工事 : 115,000 円

領 収 書	
	○年○月○日
広域 一郎 様	
¥115,000-	但し書欄に「介護保険による住宅改修工事代」等明記すること
<u>但し介護保険による住宅改修工事代として</u> 上記金額正に領収いたしました	
	(株)△△工務店 店工△ 印務△

償還払 記載例②: 介護保険による住宅改修対象外工事も同時に行った場合
住宅改修対象工事 : 115,000 円
住宅改修対象外工事 : 100,000 円

領 収 書	
	○年○月○日
広域 一郎 様	
¥215,000-	但し書欄に「介護保険による住宅改修工事代〇〇〇円含む」等明記すること
<u>但し介護保険による住宅改修工事代 115,000 円含む</u> 上記金額正に領収いたしました	
	(株)△△工務店 店工△ 印務△

➤ 受領委任払の場合、利用者負担額の1円未満は切り上げること。

受領委任払 記載例①：介護保険による住宅改修対象工事のみを行った場合
住宅改修対象工事：87,771円
利用者負担割合：1割

領 収 書	
〇年〇月〇日	
広域 一郎 様	
$87,771 \times 0.1 = 8,777.1$ $\doteq 8,778$ 円 (1円未満切り上げ)	¥8,778-
但し書欄に「介護保険による住宅改修工事代〇〇〇円の利用者負担額として」等、内訳を明記すること	
但し介護保険による住宅改修工事代 <u>87,771円</u> の利用者負担額として 上記金額正に領収いたしました	
(株)△△工務店 店工△ 印務△	

受領委任払 記載例②：介護保険による住宅改修対象工事が支給限度基準額（20万円）を超過する場合
住宅改修対象工事：287,771円
利用者負担割合：1割

領 収 書	
〇年〇月〇日	
広域 一郎 様	
¥107,771-	
利用者負担額（支給限度基準額超過分）： <u>287,771円 - 200,000円 = 87,771円</u> 利用者負担額（1割負担分）： <u>200,000円 × 0.1 = 20,000円</u> 領収額： <u>87,771円 + 20,000円 = 107,771円</u>	
但し介護保険による住宅改修工事代 <u>287,771円</u> の利用者負担額（1割負担分： <u>20,000円</u> 、 <u>超過分：87,771円</u> ）として	
但し書欄に「介護保険による住宅改修工事代〇〇〇円の利用者負担額（●割負担分：△△△円、超過分：▲▲▲円）として」等、内訳を明記すること	
上記金額正に領収いたしました	
(株)△△工務店 店工△ 印務△	

受領委任払 記載例③：支給限度基準額（20万円）を超過する住宅改修と、住宅改修対象外工事を同時に行った場合
住宅改修対象工事：220,000円
住宅改修対象外工事：115,000円
利用者負担割合：3割

領 収 書

○年○月○日

広域 一郎 様

¥195,000-

利用者負担額（3割負担分）：200,000円×0.3＝60,000円

利用者負担額（支給限度基準額超過分）：220,000円－200,000円＝20,000円

介護保険対象外分：115,000円

領収額：60,000円＋20,000円＋115,000円＝195,000円

但し介護保険による住宅改修工事代の利用者負担額（3割負担分：60,000円、超過分：20,000円）及び介護保険対象外費用 115,000円として
上記金額正に領収いたしました

但し書欄に「工事代□□□円のうち、介護保険による住宅改修工事代の利用者負担額（■割分：●●●円、超過分：◎◎◎円）及び介護保険対象外費用▲▲▲円として」等、内訳を明記すること

(株)△△工務店

店工△
印務△